

サケイスポーツ杯争奪戦 ラピス新橋カッパ FI



9/14(日)15(月)16(火)



川崎スポーツ

レース展望

9月14日からの川崎FIナイター開催はサケイスポーツ杯争奪戦、ラピス新橋カッパの冠で、S級・A級ともに全国各地から好選手が集まり行われる。

前々期の失格回数の関係で、今期はS級2班ながら断然の実績を持っているグランドスラマー新田祐大(福島90期)がもちろんシリーズの中心になる。毎開催予選からのスタートになっているが、FI戦では抜群のスピードで完全V2回と機動パワーの違いを見せ付けている。勝ち上がってけばマークとなる渡部幸訓(福島89期)も近況は111点台の得点を維持しており好連係を決めるだろう。地元からはタテヨコ何でもこなす自力型とし

て得点を伸ばしている菅原大也(107期)が、勝負所から一気の仕掛けを見せるはずで、ガッツメーカーの同県内藤秀久(89期)や東龍之介(96期)とゴール前争いを目論みそうだ。関東勢ではメンバー次第では自在戦も辞さない高橋築(東京109期)が主力になり、埼玉期待の積極先行森田一郎(125期)とタッグを組めば、上位陣を脅かす存在になるだろう。中部近畿は未だ自在脚健在の山本伸一(奈良101期)が巧者笠松信幸(愛知84期)を連れてバック捲りを狙う展開もあるか。西日本勢ではラインにこだわらず自分の自力スタイルを崩さない原田研太郎(徳島98期)やそれに続きそうな同県木村隆弘(91期)、脚をためて直線突込みを狙う山

口敦也(佐賀113期)辺りが穴で面白い。

A級戦は各地区の戦力に全く差が無くどこからでも狙えるメンバー構成となっており、前期S1だったがもう一息の成績に終わった山田雄大(埼玉117期)がそろそろ本領発揮しそうで、そこに今期は差脚が安定している鯨淵圭佑(群馬90期)が続く関東ラインや、積極型荒川仁(千葉121期)が準決は3場所連続でクリアしており、地元川崎健次(88期)を連れて逃げる場面も十分ありそうで、遠征勢では行きつ振り抜群な菱田浩二(京都97期)に点数上位のベテラン鷺見逸喜(岐阜79期)がマークして、ワンツーフィニッシュを目指すだろう。

S級
主力選手



内藤秀久 神奈川 89期

競輪界屈指のメーカー。気持ちの強さと捌きの技術・度胸は抜群で、この選手が番手を回することでラインの戦力もアップする。多数の自力選手からの厚い信頼を得ていて、今年はだいぶ苦戦しているようだが、この地元戦をキッカケに終盤戦の活躍に期待したいところ。

S級
主力選手



新田祐大 福島 90期

数々のタイトルを手に入れている北日本のスピードスター。失格の影響で今期は2班の格付けだが、予選では格の違いを見せつけている。近況では流れ次第で早めの仕掛けに出ることも少なくなく、レース内容は悪くない。まだまだタイトル戦線に加わる力は備えている。

S級
主力選手

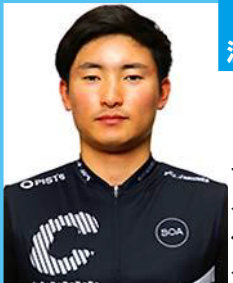


原田研太郎 徳島 98期

捲りのスペシャリストが登場。通算500勝のほとんどがS級戦で、主戦法はもちろん捲り。強気に位置を要求することは無いが、タイミング重視のシンプルなスタイルで戦っている。基本的に人の後ろは回らず単騎でも自力勝負にこだわり、豪快なバック捲りに注目したい。

A級
注目選手

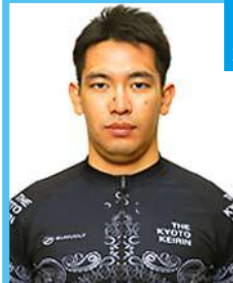
荒川仁 千葉 121期



学生時代には輝かしい実績を持ち、高いスプリント能力を発揮している。徐々にレースに慣れてきてはいるものの、まだまだ物足りない感はある。ダッシュ力を生かす組み立てをこなし、競輪に必要な地脚の強化をすれば、更なる伸びしろは十分だろう。南関期待の若手積極型。

A級
注目選手

菱田浩二 京都 97期

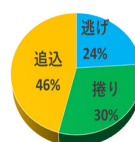


デビュー以来、積極的な走りでラインに貢献してきた先行タイプ。今年はすでに5Vと気を吐いている。力強い先行は圧巻で、今までS級の経験がないのが意外なほどだ。今期一発目の失格は大きな痛手となったが、初のS級昇級を目指して、変わらぬスタイルで突き進むだろう。

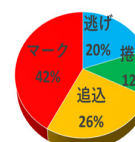
川崎競輪場バンクガイド (2024年1月~12月データ)

昨年1年間28開催・936レース(ガールズケイリンを含む)の川崎バンクの決まり手は右表の通り。昨年までのデータと逃げ・捲り・追込・マークのパーセンテージには大して変わりはないが、1着に限って言えば逃げ・捲りの決まり手は変わらず50%を超えているので、自力型のアタマから組み立てていく車券戦略が可能だろう。川崎名物イエローライン付近のゴール前強襲は、選手たちも新バンクに慣れて徐々に出現率が高くなってきている感であり、力のある追込型はたとえ後方に置かれたとしても、最終4コーナーから一気に巻き返す可能性もあり軽視出来ない印象だ。

1着決まり手



2着決まり手



格上新田祐大が機動パワーでV最短